

認定 NPO 法人 ISPA Japan 新型コロナ感染症対策ガイドライン

(2021 年 3 月現在)

認定 NPO 法人 ISPA Japan は政府の新型コロナ感染症基本的対処方針、専門家会議提言等を踏まえ、感染経路、リスクと注意事項を十分理解した上で、基本的対応や実施判断基準に基づき対応していきます。またイベント、活動および当 NPO がプログラム主催するコースが開催される都道府県の方針に従うこと大前提とし、開催や実施の判断が難しい際は、開催地や施設が所在する都道府県のスポーツ主管課や衛生部局等への相談を行なってまいります。

1. 新型コロナウイルスの感染経路の確認

新型コロナウイルスの感染は以下の 3 つの経路で生じることが知られています。

*飛沫感染 (咳やくしゃみ、おしゃべりによる感染)

咳やくしゃみにより、ウイルスを含む唾液や鼻汁などの水滴が飛散し、他の人がそれを吸い込む事で感染します。会話であっても、唾液の飛散により感染することに注意が必要です。風のないところでは、飛沫は最大 1.5m 程度しか飛ばないので、飛沫感染を防ぐためには、2m 程度の距離を空ける必要があります。風がある場合の風下方向や、風がなくても自分が動いている場合の後方には、10m 以上の距離まで、飛沫が飛ぶ可能性が指摘されています。

*接触感染 (手で触れることによる感染)

咳やくしゃみ、おしゃべりによって排出されたウイルスが付着した場所を、他の人が手で触り、その手で口や鼻や食べ物を触る事でウイルスが侵入し、感染します。物体の表面に付着したウイルスは、最大で数日に渡って生き続けます。自分がしているマスク表面には他の人が排出したウイルスが、裏面には自分が排出したウイルスが付着している可能性があります。接触感染を防ぐには、汚染されている可能性のある場所に触れた後、また目や鼻や口や食べ物を触る前に、正しい手洗い、または手指消毒する必要があります。

*エアロゾル感染 (空気中に浮遊する非常に小さな粒子の飛沫による感染)

咳やくしゃみ、おしゃべりによってウイルスが排出され、それが非常に小さな粒子の場合、地面に落下せず空気中に漂い続ける事があります。この場合、ウイルスは空気の流れにのって、遠くまで到達します。しかし、密閉空間でなければ、浮遊するウイルスは拡散してしまい、感染力を失うと考えられています。屋外や、室内でも十分に換気を行えば、新型コロナウイルスのエアロゾル感染を防ぐことができます。

クルージングにおける感染リスクと注意事項

クルージング中は基本的に屋外で、しかも風の流れのある海上で継続して帆走するため、3つの密を作る可能性は他のレジャー等に比べると低いものと考えられます。そのため、対策はイベントやコース開催地到着まで、および陸上での対応が中心となりますが、一人乗りを除く多くの船で、飛沫感染防止のために必要な乗員同士の2m以上の距離を保ち続けられないことを考えると、クルージング中も注意が必要となっています。

以下、当 NPO の新型コロナ感染症対策ガイドラインを策定します。

2. イベントおよびコース開催・実施時における留意点

(1) イベントおよび当 NPO がプログラム主催するコース等の参加募集時の対応

参加募集に際し、感染拡大の防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして協力を求めます。参加者の安全を確保するため、これを遵守できない参加者にはイベントおよびコース等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知いたします。尚、参加者には感染拡大防止のための措置として、以下への協力をお願いします。

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（イベントおよびコース開催当日に書面で確認を行う）
 - i 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ii 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - iii 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のクルージングを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施
- ③ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること（できるだけ2m以上／障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- ④ イベント、コース開催中は大きな声での会話等をしないこと
- ⑤ 感染拡大防止のために当 NPO が決めたその他の措置を遵守し、指示に従うこと
- ⑥ イベントおよびコース終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、当 NPO に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

(2) 当日の参加受付時の留意事項

当 NPO は、施設管理者とも事前協議の上、イベントおよびコース等の当日の受付時に参加者が密になることへの防止や、安全にイベントを開催・実施するため、以下に配慮して受付事務を行います。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況により、発熱者を体温計などで特定し入場を制限する場合があります）
- ③ 人と人が対面する場所を極力作らないこと、やむを得ぬ場合はアクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと
- ⑤ 受付を行うスタッフは、必ずマスクを着用すること
- ⑥ インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるように努めること
- ⑦ イベント前日までにできるだけ受付を済ませ、当日の受付での混雑を極力避けるよう考慮すること

(3) イベントおよびコース参加者（含むスタッフ、当 NPO 関係者）への対応

ア 書類による体調の確認と当日の検温、各種チェック

- ① 参加者にはイベントおよびコース開催当日、以下（本項②③を含む）の事項を記載した書面の作成・提出をお願いすること
 - i 氏名
 - ii 年齢
 - iii 住所
 - iv 連絡先（電話番号）

※個人情報につきましては当 NPO の個人情報保護指針をご高覧ください。

※万が一感染が発生した場合に備え、上記の書面については、イベントおよびコース開催当日より 2 か月間当 NPO の事務所にて保存します。

- ② イベントおよびコース開催当日の検温を実施すること
- ③ イベントおよびコース開催前 2 週間における以下の事項の有無のチェックを行うこと
 - i 平熱を超える発熱
 - ii 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
 - iii 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
 - iv 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - v 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無

- vi 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無

イ マスクの準備と着用、マイタオルの持参

参加者にはマスクの準備と原則着用をお願いします。また手洗いの際に使用するマイタオルの持参をお願いします。

ウ イベントおよびコース参加前後の留意事項

参加者には、イベントもしくはコース前後のミーティング等においても、3つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮することをお願いします。

(4) 当 NPO が準備・配慮すべき事項

イベントおよびコース開催等で使用する施設についても、事前に施設管理者と十分協議をして、準備や対応を行います。

ア 宿泊/交通手段

できるだけ3つの密を避けるための情報提供に努めます。

イ 船内・宿泊スペース等

船内・宿泊スペース等は感染リスクが比較的高いと考えられることに留意します。船内、宿泊スペースおよび参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下に配慮して準備します。

- ① 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- ③ デッキ、操舵室、船内・宿泊スペース等内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ヘルム、ウィンチ、ハンドル、ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒すること
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること

ウ トイレ・手洗い場所

洗面所（トイレ）は感染リスクが比較的高いと考えられるため、以下に配慮して管理します。また参加者がイベントもしくはコース開催・実施の間に手洗いをこまめに行えるよう、以下に配慮して手洗い場所を確保します。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- ③ 手洗い場には石鹸を用意すること
- ④ 参加者にはマイタオルの持参をお願いすること
- ⑥ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

エ 飲食物の提供

飲食物は、参加者が各自で用意することを原則とします。飲食物を参加者に提供する場合は、感染経路を意識した提供方法を検討し、個別に飲食物が行き渡るようにするとともに食べ回しや飲み回しなどを控えていただきます。

尚、ゴミの廃棄 水、唾液などが付いたマスクや食事ごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収するスタッフはマスクや手袋を着用します。また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い手指消毒します。

オ その他の留意事項

イベントおよび当 NPO がプログラム主催するコース等終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合には、地域開催地自治体の衛生部局と相談の上対処します。

以上